

# 介護保険は大丈夫？ 地域包括ケアシステムとは・・・

## 介護保険制度の改悪を許さない



自公政府は、今後介護保険から介護度の軽い人たちをはずすために、地域や家族で介護を担わせる「地域包括ケアシステム」を自治体で構築することを進めています。

下記の⑧と⑩以外は、新たな事業であり、⑫が要支援1,2の人たちが介護保険から外される受け皿となります。

### 社会保障削減が目的

岡崎市における地域包括ケアシステムの具体的な施策は下表の通りです。(1月8日 岡崎市議会地域包括ケアシステム検討特別委員会の資料より)

安倍政権は、骨太方針において社会保障費を約3千億〜5千億円の毎年削減(小泉政権時代は毎年2200億円の削減)をする中で、地域包括事業への財源は本来に保障されるのか、心配です。

### 日本共産党の提案

介護(社会保障)は国の責任として、  
○要支援、介護予防のかたちへのサービスを手厚くすることで、本来の介護予防を行う。そのために、介護保険から外される軽度の方たちの受け皿を市の責任でつくる

### 地域包括ケアシステムの目的

団塊の世代が75歳以上となる2025年をめぐり、高齢で医療や介護等が必要な状態になっても、適切なサービスを利用することによって、最期まで尊厳を保持しながら、地域で自分らしい暮らしの継続ができるよう、医療・介護・予防・生活支援・住まいが地域において切れ目なく一体的に提供される制度をめざす  
(特別委員会に提出された岡崎市資料より)

○介護従事者の報酬、事業所への報酬を引き上げ、研修の支援など質の高いサービスを実施することなどを当面提案しています。

地域包括支援センター (平成27年7月から再編) 7月

現在		平成27年7月から
高齢者センター岡崎	美合、緑丘、小豆坂	
中央地域福祉センター	梅園、根石	根石は 東病院
北部地域福祉センター	細川、奥殿、恵田、、岩津	
南部地域福祉センター	六ツ美(北部、中部、西部、南部)、城南	中部・南部は、むつみなのはな苑
西部地域福祉センター	北野、矢作北、矢作西	北野、矢作北は第二やはぎ苑
東部地域福祉センター	本宿、山中、藤川、竜谷	
竜美(公衆衛生センター)	六名、三島、竜美丘	六名はさくらの里へ
かわいの里	秦梨、生平、男川、常磐、常磐東、常磐南	常磐地域は真福の里へ
やはぎ苑	矢作南、矢作東	
なのはな苑	羽根、岡崎、上地、福岡	羽根、城南はスクエアガーデン上地は高齢者センターへ
額田の里	豊富、夏山、宮崎、形埜、下山	
社会福祉協議会	連尺	
ひな(コープあいち)	井田、愛宕、広幡	
さくら(さくらの里)	大門、大樹寺	

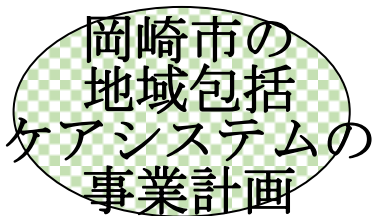
### 平成27年度から実施

- ①現医師会在宅医療サポートセンター設置
- ②医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護サービス事業者、幸田町、岡崎市によるネットワーク協議会「岡崎幸田いえやすネットワーク」の立ち上げ
- ③基幹型地域包括支援センターに「認知症地域支援推進員」を配置する
- ④学区を基礎とした地域ケア会議の推進



### 平成28年度から実施

- ⑤電子@連絡帳の導入
- ⑥「認知症地域支援推進員」の配置を順次地域包括支援センターに置く
- ⑦認知症初期集中支援チームの設置
- ⑧地域包括支援センターを現在の14カ所から21カ所に増やす
- ⑨生活支援コーディネーターを配置する。
- ⑩主に障がい者や生活困窮者支援のためのネットワーク強化と調整のために相談支援専門員を基幹型包括支援センターに1名配置
- ⑪社会福祉協議会に相談員2・5人を配置して成年後見制度の活用を支援する。



### 平成29年度から

- ⑫介護事業者による既存のサービスに加えてNPO・民間企業・ボランティア、地域住民によるサロン活動をはじめとした予防活動、生活支援の提供

視察報告  
地域医療・介護連携事業

きまた昭子

〔福祉病院委員会視察報告〕  
地域医療の推進／1月18日  
神奈川県横須賀市

第6期介護保険の法改正によつて、平成30年までに全国自治体は医療・介護の連携推進事業の取り組みを義務づけています。

横須賀市は、2015年からの在宅医療・介護連携推進事業を進めるために医療関係者（医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士、病院、訪問看護）、介護関係者（介護老人保健施設、ケアマネ・ヘルパー、地域包括

支援センター、グループホーム、民生委員、児童委員協議会）関係市職員によつて連携会議を設置しています。

病院退院前に患者に対するカンファレンスシートを作り、在宅で暮らす上での各種支援に必要な情報を一体的に患者に関わる人に情報を提供しています。

岡崎でも同様に個人のシートの利用で患者の退院後必要とするサービスが提供できるようすべきと考えます。休日夜間診療所の建設費に

は、横須賀基地の交付金約6億円余りが使われています。

救急医療センターの赤字解消のため、医師会に指定管理（民間委託）することで、医師以外の病院労働者の給与を市の一般職並に引き下げ黒字経営としました。また、看護師不足の解消のために看護職キャリアアップト・婚活支援・復職支援などを取り組んでいます。公立病院は、指定管理（民間委託）をやめ働く人の支援こそすべきです。



グリーン車利用は廃止の方向へ  
海外視察を再開???

岡崎市議会では視察の際に、いまだにグリーン車を使っていますが、日本共産党市議団は一貫して「グリーン車の利用を廃止すべき」と要求してきました。

現在各派代表者会議が調査研究を委託している政務活動作業部会（各会派から代表各1名で構成）では、政務活動費に

よる視察の際のグリーン車の廃止を検討しています。

しかし、その一方で、凍結している海外視察の解除することを、作業部会で検討するよう、議長から指示がありました。



日本共産党愛知県党若者雇用対策部長

須山はつみ

愛知産業大学の後輩に 宣伝！！

1月には行ってから大学前宣伝を重ねて来ました。第一弾の締めくくりは、母校愛知産業大学へ；

通学駅である藤川駅前で、大学生と三河高校生にあいさつ。

後輩と握手を交わすと「私もデザイン科です！ガンバッテ下さい」との声。雨にもかかわらず100枚のビラが早々になくなる、母校ならではの事態・・・岡崎市議のきまた昭子さん、鈴木まさ子さん、そして、地元の後援会のみなさんの応援で、雨の中、元気に宣伝することができました！

パワフルな地域のみなさんのおかげです！



日本共産党岡崎市議団



市議会議員

きまた昭子



市議会議員

鈴木まさ子